

nichiro

nichiro

あじわう心をいつくしむ

株式会社ニチロ  
2005年3月期(第115期)  
決算説明資料



新商品ブランド「ニチロマザー」  
<http://www.nichiro-mother.jp>

お問合せ先：

総合企画部 広報室  
室長 朝倉 国満

Tel:03-3240-6208

E-mail : [asakura@nichiro.co.jp](mailto:asakura@nichiro.co.jp)

URL: <http://www.nichiro.co.jp>

<目次>

1. 上期のトピックス	3	ページ
2. 連結における決算説明		
(1)連結決算概要	4	ページ
(2)固定資産の損失処理について	5	ページ
(3)セグメント情報	6	ページ
(4)連結事業別売上高	7	ページ
(5)設備投資の状況	8	ページ
3. 単体における決算説明		
(1)単体決算概要	9	ページ
(2)事業別売上高	10	ページ
(3)事業別売上高 (グラフ)	11	ページ
(4)加工品食品事業		
冷凍食品売上高内訳	12	ページ
市販用冷凍食品カテゴリー別売上構成比率	13	ページ
市販用冷凍食品カテゴリー別売上構成比率 (グラフ)	14	ページ
業務用冷凍食品 N&N、日照製造分売上高	15	ページ
缶詰類品目別売上高	16	ページ
(5)水産品事業 取扱主要魚種別売上高	17	ページ
4. 2006年3月期(116期)業績見込	18	ページ
5. 資本政策について	19	ページ
6. 配当政策について	”	ページ

## 1. 今期のトピックス

- 4月 連結子会社(株)ニチロベイカースの営業権を(株)サンジェルマンに譲渡。
- 6月 中国合弁会社 日照日魯栄信食品有限公司で水産加工品のHACCP取得
- 6月 白鷹工場でのISO14001認証取得により国内直営 9カ工場すべてでISO14001の認証取得完了
- 6月 中国産ほうれん草、輸入自粛解除  
8月に通関、販売開始
- 11月 ほくれい(株) (夕張市)をグループ化へ  
11月 1日に雪印乳業(株)より100%株式取得、冷凍食品事業拡大をはかる
- 1月 固定資産に係る減損処理の実施をプレスリリース
- 3月 第三者割当による優先株式 (80億円)発行

### < 来期予定 >

- 連結子会社 更別食品(株)において建設費約35億円をかけ工場増設し、北海道での原料産地立地工場としての機能を強化 (05年12月竣工予定)
- 4月 中国・山東省に合弁会社 煙台日魯大食品有限公司を設立。調理冷凍食品、畜肉加工品の生産拠点として冷凍食品事業の強化へ

## 2連結における決算説明

### (1)連結決算概要

(単位：百万円)

決算期	2005年3月期 実績(a)	2004年3月期 前期(b)	増減 (a)-(b)	増減率 (%)
売上高	246,933	250,368	3,434	1.4%
営業利益	6,436	4,984	1,451	29.1%
営業利益率	2.6%	2.0%	0.6%	
経常利益	5,087	3,764	1,322	35.1%
経常利益率	2.1%	1.5%	0.6%	
純損益	7,186	709	7,895	-
純利益率	-	0.3%	-	

- (売上高) 連結子会社の㈱アクリフーズやピーターパン・シーフーズ・グループなどは好調でしたが、ニチロ単体の減収などにより連結売上高は前期比3,434百万円減(1.4%減)の246,933百万円となりました。
- (営業利益/経常利益) 連結子会社の㈱アクリフーズやピーターパン・シーフーズ・グループなどの売上増による増益やニチロ単体での収益性の高い商品にシフトしたことなどにより、営業利益は前期比1,451百万円増(29.1%増)の6,436百万円、経常利益は前期比1,322百万円増(35.1%増)の5,087百万円となりました。
- (純損益) 減損処理前倒処理による損失計上の結果、当期純損失は7,186百万円となりました。



### (3)セグメント情報

#### 連結売上高 (事業別セグメント)

	2005年3月期		2004年3月期		増減	
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比	(百万円)	増減率
加工食品事業	148,500	60.1%	155,938	62.3%	7,438	4.8%
水産品事業	77,867	31.5%	73,205	29.2%	4,661	6.4%
その他の事業	31,899	12.9%	33,488	13.4%	1,589	4.7%
消去又は全社	11,332	4.5%	12,264	4.9%	931	-
合計	246,933	100.0%	250,368	100.0%	3,434	1.4%

#### 連結営業利益 (事業別セグメント)

	2005年3月期		2004年3月期		増減	
	(百万円)	利益率	(百万円)	利益率	(百万円)	増減率
加工食品事業	7,589	5.1%	6,921	4.4%	668	9.7%
水産品事業	1,498	1.9%	441	0.6%	1,057	239.2%
その他の事業	883	2.8%	902	2.7%	19	2.1%
消去又は全社	3,534	-	3,281	-	253	-
合計	6,436	2.6%	4,984	2.0%	1,451	29.1%

上記売上高, 営業利益にはセグメント間の内部売上高及び振替高を含んでおります。

## (4)連結事業別売上高

	2005年3月期 115期	2004年3月期 114期	増減
<b>加工食品事業</b>			
冷凍食品	136,900	141,487	4,587
缶詰類	20,915	22,331	1,416
その他	4,644	6,071	1,427
消去等	13,960	13,952	7
<b>小計</b>	<b>148,500</b>	<b>155,938</b>	<b>7,438</b>
<b>水産品事業</b>			
水産品	77,867	73,205	4,661
<b>その他の事業</b>			
バイオ	526	510	16
飲料	26,114	27,435	1,321
機械	7,132	7,318	185
サ－ビス	3,080	2,643	436
その他	3,680	3,813	132
消去等	8,635	8,233	402
<b>小計</b>	<b>31,899</b>	<b>33,488</b>	<b>1,589</b>
セグメント間の売上消去	11,332	12,264	931
<b>合計</b>	<b>246,933</b>	<b>250,368</b>	<b>3,434</b>

## (5)設備投資 (償却資産)の状況

単体の主な設備投資

■ **設備投資総額 8 億円**

< 内訳 >

広島工場283百万円 (スパイラルフリーザー 1ライン増設139百万円他)

釧路工場130百万円、石巻工場128百万円 他

子会社の主な設備投資

■ **設備投資総額 1.7 億円**

< 内訳 >

P P S F 社654百万円、ニチ口畜産221百万円 他

2006年3月期 (第116期) 予定

■ **工場製造設備増強代替等 単体 : 1.5 億円 子会社 : 6.1 億円**

### 3.単体における決算説明

#### (1)単体決算概要

(単位：百万円)

決算期	2005年3月期 115期(a)	2004年3月期 114期(b)	増減 (a)-(b)	増減率 (%)
売上高	169,110	177,093	7,982	4.5%
営業利益	2,409	2,217	192	8.7%
営業利益率	1.4%	1.3%	0.1%	
経常利益	2,654	2,241	413	18.5%
経常利益率	1.6%	1.3%	0.3%	
純損益	3,624	57	3,566	-
純利益率	-	-	-	

- (売上高) 加工食品事業では外食産業の低迷、畜産事業では豚肉の取扱量減少及びレトルト米飯撤退などにより売上高は前期比7,982百万円減(増減率4.5%減)の169,110百万円となりました。
- (営業利益/経常利益) 加工食品及び水産品事業の利益率改善により営業利益は前期比192百万円増(8.7%増)の2,409百万円、経常利益は前期比413百万円増(18.5%増)の2,654百万円となりました。
- (純損益) 減損処理前倒処理による損失計上の結果、当期純損失は3,624百万円となりました。

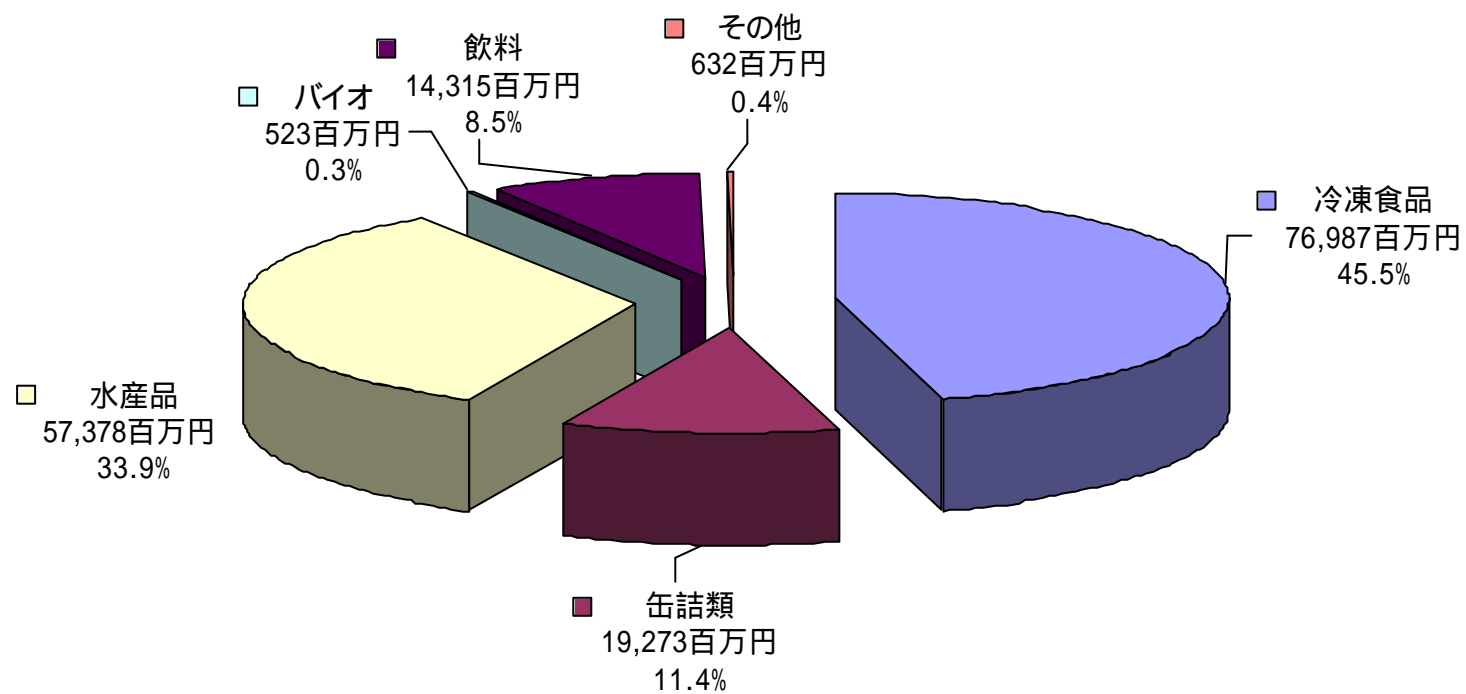
## (2)事業別売上高

(単位：百万円)

	2005年3月期 (第115期)		2004年3月期 (第114期)		増 減	
	(a)	構成比	(b)	構成比	(a) - (b)	%
加工食品事業						
冷凍食品	76,987	45.5%	82,249	46.4%	5,261	6.4%
缶詰類	19,273	11.4%	20,716	11.7%	1,442	7.0%
部門計	96,261	56.9%	102,965	58.1%	6,704	6.5%
水産品事業	57,378	33.9%	57,733	32.6%	354	0.6%
その他の事業						
バイオ	523	0.3%	510	0.3%	13	2.5%
飲料	14,315	8.5%	15,133	8.6%	818	5.4%
その他	632	0.4%	750	0.4%	118	15.7%
合 計	169,110	100.0%	177,093	100.0%	7,982	4.5%

- <加工食品事業> 市販用冷凍食品は微増で推移するも、外食産業の低迷等により業務用食品は前期と比べ減収となりました。  
缶詰類はレトルト米飯撤退や青物缶詰の取扱量減などにより減収となりました。
- <水産品事業> 「さけ・ます、すりみ」など一部荷動きが好調に推移しましたが、「カニ、タラコ、カレー類」など取扱量減となり減収となりました。

### (3)事業別売上高 (グラフ)



## (4)加工食品事業

### 冷凍食品売上高内訳

品目	数量 (トン)				金額 (百万円)					
	2005年3月期 第115期	2004年3月期 第114期	増減	増減率	2005年3月期 第115期	構成比	2004年3月期 第114期	構成比	増減	増減率
市販用冷凍食品	45,286	43,978	1,307	3.0%	34,449	44.7%	34,265	41.7%	184	0.5%
業務用冷凍食品	50,635	51,698	1,063	2.1%	30,931	40.2%	32,852	39.9%	1,921	5.8%
畜産品	23,526	29,144	5,619	19.3%	11,608	15.1%	15,132	18.4%	3,524	23.3%
合計	119,447	124,820	5,374	4.3%	76,987	100.0%	82,249	100.0%	5,261	6.4%

- 市販用は調理品、冷凍野菜が好調に推移しましたが、猛暑の影響などでフライ類が大幅に落ち込んだことにより売上高は前期比184百万円増(0.5%増)の34,449百万円となりました。
- 業務用は外食産業の低迷等により売上高は前期比1,921百万円減(5.8%減)の30,931百万円となりました。
- 畜産品は牛肉や鶏肉などは堅調に推移しましたが、豚肉の取扱減などにより売上高は前期比3,524百万円減(23.3%減)となり11,608百万円となりました。
- 以上により冷凍食品の売上高は前期比5,261百万円減(6.4%減)の76,987百万円となりました。

## (4)加工食品事業

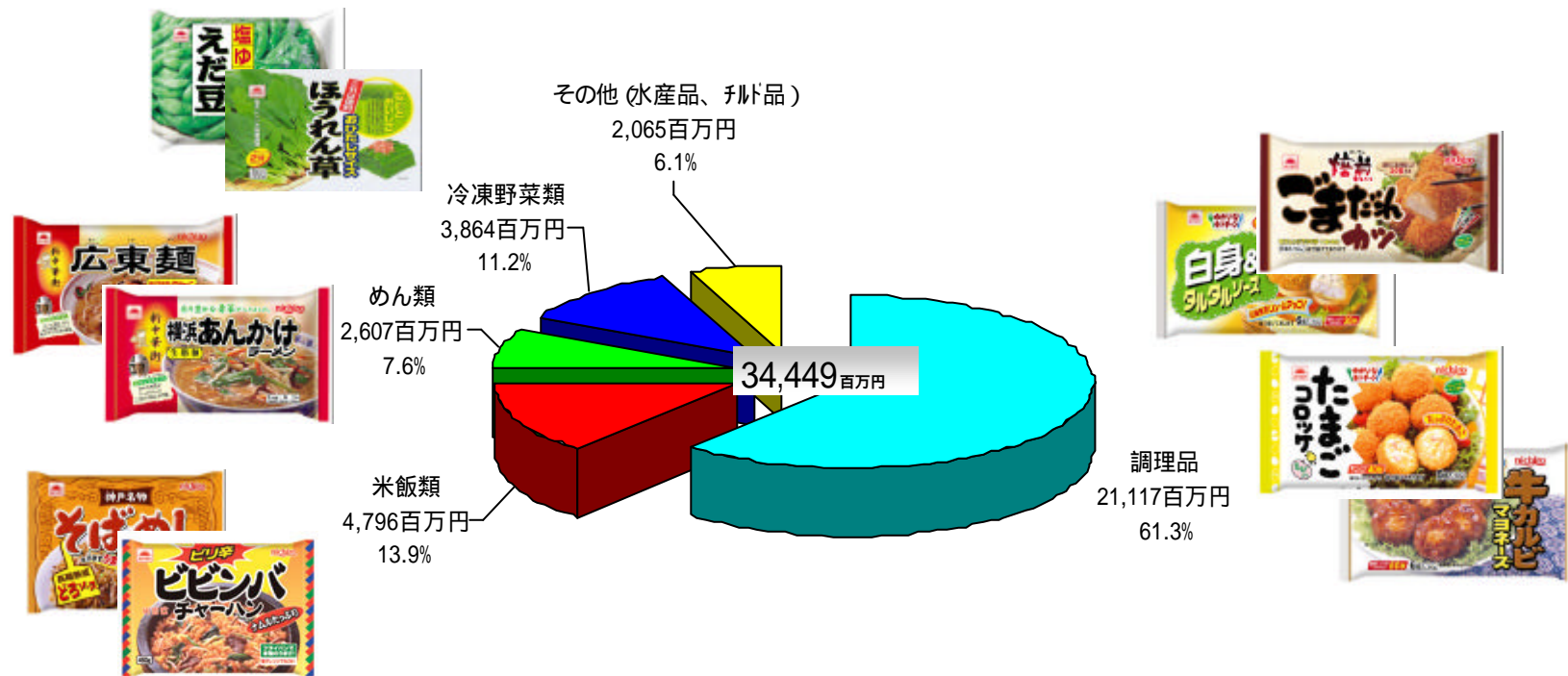
### 市販用冷凍食品カテゴリー別売上構成比率

品目	2005年3月期 (第115期)		2004年3月期 (第114期)		増 減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	増減率
調 理 品	21,117	61.3%	21,239	62.0%	121	0.6%
米 飯 類	4,796	13.9%	4,937	14.4%	141	2.9%
め ん 類	2,607	7.6%	2,448	7.1%	159	6.5%
冷 凍 野 菜 類	3,864	11.2%	3,299	9.6%	565	17.0%
その他(水産品、チルド品)	2,065	6.1%	2,342	6.8%	278	11.9%
合 計	34,449	100.0%	34,265	100.0%	184	0.5%

- 調理品では新商品の「たまごコロケ」や「焙煎ごまだれカツ」、既存品の「牛カルピマヨネーズ」(前期比54.0%増)、「白身&タルソース」(前期比42.2%増)などは好調に推移しましたが、「チーズメンチ」(前期比51.0%減)など肉フライ類が大幅な減少となりました。
- 冷凍野菜類では「ほうれん草」(前期比125.5%増)、「ブルーベリー」(前期比114.4%増)が好調に推移しました。

(4)加工食品事業

市販用冷凍食品カテゴリー別売上構成比率 (グラフ)



#### (4)加工食品事業

#### 業務用冷凍食品 N&N・日照製造分売上高

(単位 :百万円)

品 目	2005年3月期	2004年3月期	増減	増減率
タイ・N&N社 (エビフライ、アジフライ、点心類など)	3,686	4,642	956	20.6%
中国・日照 (骨なし切身、茶あらい骨なし魚など)	3,016	3,221	205	6.4%

水産ルートも含めた中国魚加工品の売上高は35億円(前期35億円)です。

- 外食産業の低迷などにより、タイおよび中国で製造の業務用冷凍食品は減収となりました。

## (4)加工食品事業 缶詰類品目別売上高

品 目	単位	数 量				金額 (百万円)					
		2005年3月	2004年3月	増減	増減率	2005年3月	構成比	2004年3月	構成比	増減	増減率
缶詰	千ケース	2,420	2,572	152	5.9%	17,258	89.5%	17,929	86.5%	671	3.7%
レトルト食品	トン	2,257	3,688	1,431	38.8%	1,434	7.4%	2,147	10.4%	713	33.2%
その他	トン	131	242	111	45.8%	581	3.1%	639	3.1%	58	9.1%
合計	-	-	-	-	-	19,273	100%	20,716	100%	1,442	7.0%



- 缶詰は「あけぼのさけ」(前期比2.7%増)、「たらばがに」(前期比10.4%増)は順調に推移するも、いわし青物缶詰の原料高騰による取扱量減により減収(前期比16.7%減)となりました。
- レトルト食品はレトルト米飯撤退により減収となりました。

## (5)水産品事業 取扱主要魚種別売上高

	数量 (千㌧)				売上高 (百万円)				取扱平均単価 (円/ Kg)			
	2005年 3月期	2004年 3月期	増減	増減率	2005年 3月期	2004年 3月期	増減	増減率	2005年 3月期	2004年 3月期	増減	増減率
サケ・マス	22.4	17.8	4.6	25.6%	12,144	9,132	3,011	33.0%	542	512	30	5.9%
カニ	5.6	7.1	1.5	20.9%	8,037	10,791	2,753	25.5%	1,426	1,514	88	5.8%
赤魚	6.0	6.2	0.2	3.5%	1,780	1,567	213	13.6%	296	252	44	17.7%
カレイ類	3.9	5.1	1.3	24.4%	2,310	2,966	656	22.1%	594	577	17	3.0%
タラコ	2.3	2.9	0.7	23.5%	3,834	4,947	1,112	22.5%	1,704	1,681	23	1.4%
すりみ	12.9	11.3	1.7	14.9%	3,560	3,058	502	16.4%	275	271	4	1.4%
海老	9.8	8.6	1.2	13.9%	9,602	8,843	759	8.6%	979	1,027	48	4.7%
その他	21.6	22.2	0.5	2.5%	14,649	14,249	400	2.8%	678	643	35	5.4%
輸出仲介	8.9	14.2	5.2	37.1%	1,462	2,180	719	33.0%	164	154	10	6.6%
合計	93.5	95.5	2.0	2.1%	57,378	57,733	354	0.6%	614	604	9	1.5%

■ 取扱数量93.5千トン(前期比2.1%減)、売上高57,378百万円(前期比0.6%減)となりました。

## 4. 2006年3月期 (第116期) 業績見込

【連結】 (単位:百万円)

年度 決算期	2006年3月期 見込 第116期 (a)	2005年3月期 実績 第115期 (b)	前期比	
			増減額 (a)-(b)	増減率 %
売上高	254,000	246,933	7,067	2.9
営業利益	7,700	6,436	1,264	19.6
営業利益率	3.0%	2.6%		
経常利益	6,500	5,087	1,413	27.8
経常利益率	2.6%	2.1%		
当期純利益	3,000	7,186	10,186	-
当期純利益率	1.2%	-2.9%		

【単体】

売上高	176,000	169,110	6,890	4.1
営業利益	3,200	2,409	791	32.8
営業利益率	1.8%	1.4%		
経常利益	3,000	2,654	346	13.0
経常利益率	1.7%	1.6%		
当期純利益	1,700	3,624	5,324	-
当期純利益率	1.0%	2.1%		

■ 上記の通期業績は、平成17年5月27日に公表した業績予想数値です。

## 5. 資本政策について

財務基盤の強化を図るために、第三者割当による優先株式の発行を実施いたしました。優先株の発行による資金の用途については、積極的な事業展開をおこなうための設備投資などに充当する予定であります。

- ・発行額 80億円
- ・引受先 農林中央金庫様
- ・発行日 2005年3月

## 6. 配当政策について

継続的な配当を目指し、年3円配当を予定しております。